

株式会社ユニゾンシステムズ

福岡市に本社を構え、民放テレビ局の営放システムの構築を主軸に、独自の技術を育んできた株式会社ユニゾンシステムズ。北九州オフィスを中心シティ 7F に開設し、9 月 21 日から営業をしています。新しい拠点への期待や、コワーキングスペース ATOMica（アトミカ）と連携した事業などについて、代表取締役の今村勉也さんにインタビューをしました。

（インタビュー実施日：2021 年 12 月 14 日）

—会社の事業内容について教えてください。

今村：ユニゾンシステムズは、30 年前に福岡市で創業したソフトウェア開発会社です。IT 黎明期からテレビやラジオの放送業務に携わり、映像に関わる業務の最前線でコンテンツに関する技術開発に取り組んできました。日本でこの営放システムを構築できるのは、当社を含めて 4 社しかありません。

日本のソフトウェア開発の商習慣というのは、ヒエラルキーがあるんですよ。大手企業が案件を受注し、関連会社を通して下請けのソフトウェア開発会社に発注するので、エンジニアの立場がどうしても弱くなる。それを変えたい人たちが集まるのが、うちの会社なんです。エンジニアが自由な発想でクリエイティブにもものづくりを主導し、自分らしく生きることを目指しています。

—北九州市に拠点を開設した経緯をお伺いできますか。

今村：北九州は日本で 13 番目に大きい都市であり、ビジネス機能だけでなく、ものづくりのベースがあります。しかも学生が多くて、若いエンジニアの卵がたくさんいる。すごくポテンシャルのある街だと思ったんです。セントシティにオフィスができることを知り、小倉駅前の便利な場所を拠点に、新たな取り組みを展開していこうと考えました。

—セントシティのオフィスはどんな特徴がありますか。

今村：現在、アトミカの個室オフィスに 4 人の社員が勤務しています。コワーキングスペースが隣接しているので、打ち合わせをしたり、いろいろな人と交流したりできるメリットがありますね。2021 年 9 ~11 月には、アトミカと連携して学生の長期インターンシップ(ATOMatch)イベントを開催しました。今後も開発やものづくりに興味がある学生を対象に、いろいろな技術を体験できるイベントを企画していきます。また、2022 年 3 月には、新しいスタジオ事業がスタートする予定です。

—スタジオ事業というのはどんなものでしょうか。

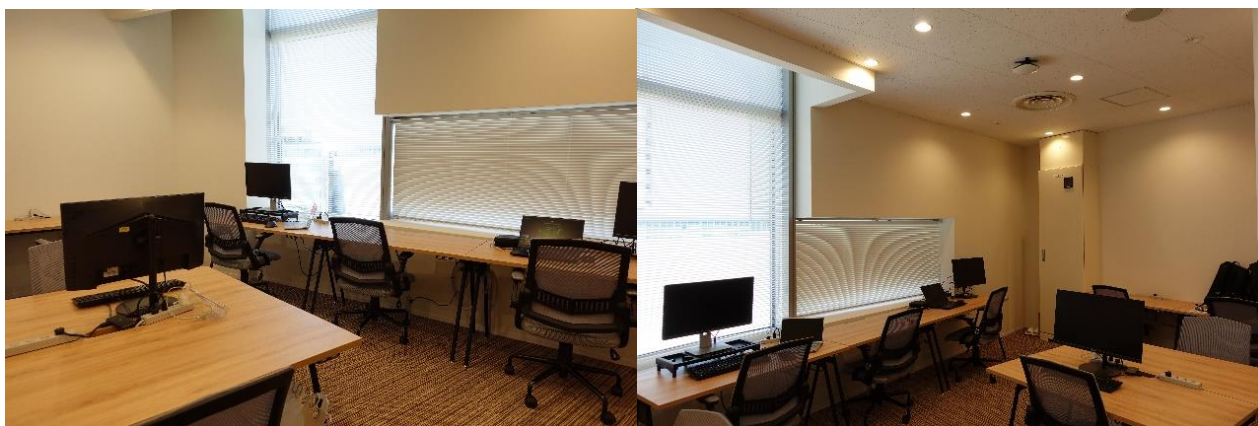
今村：アトミカと喜久屋書店の間にあるスペースに、現在、スタジオを建設しています。テレビ局のような機材を備えたスタジオで、プロが制作したものに近いクオリティの動画を作成し、ネット配信もできるサービスを提供します。企業が動画を使ってセミナーをしたり、PR 用の動画を作成したり、さまざまな動画制作ニーズに応えられるスタジオです。CG を使ったリッチなバーチャル動画もできます。

個人事業を営んでいる方や、コワーキングスペースの方など、動画作りに興味があれば誰でも気軽に使えるスタジオにしたいと思っています。

—セントシティの新拠点に期待していることを教えてください。

今村：弊社は2021年に30周年の節目を迎え、『Hello! Impossible』というコンセプトを発表しました。世の中にまだ存在しないものを開発する、高い壁があったら乗り越えるという想いを込めました。セントシティの拠点では、私たちのスピリットと、ものづくりの街・北九州のポテンシャルを掛け合わせて、新しいサービスを生み出していきたいと考えています。

エンジニアを目指す人たちが集えるような仕掛けをつくっていきますので、学生の方々も含めて気軽に参加してもらえればうれしいです。2022年3月にオープンするスタジオも、たくさんの方に利用して楽しんでいただきたいと思いますね。



【企業情報】

株式会社ユニゾンシステムズ

<https://www.unixon.co.jp/>

事業内容：メディア業界（地上波テレビ局、CS・BS）向けのシステム開発及びメンテナンス、自社パッケージ開発

所在地：福岡県北九州市小倉北区京町 3-1-1 セントシティ 7 階

本社：福岡県福岡市中央区荒戸 2-1-5 大濠公園ビル 3F

代表：代表取締役 今村 勉也

社員数：82 人（2021 年 12 月末現在）